

## 「やりがい」と「未来」がここに



本書は、一般社団法人北海道建設業協会が平成28年に創立100周年を迎え、その記念事業の一環として、当協会傘下の地元の会員企業の皆さん、特に明日を支える若い皆さんに紹介するために刊行致しました。

建設業は、皆さんが住む地域の道路や橋などのインフラ施設や建築物をつくり、またそれらを維持補修する仕事をしています。大きなものをつくり上げるといふ、とても「やりがい」を感じさせてくれる仕事です。

皆さんの周りの道路・港などのインフラ施設をつくることは、北海道の産業を発展させる基盤になるとともに、暮らしやすさをもたらします。

北海道でも近年、豪雨など大きな災害が発生していますが、そういった災害に際しては、建設業は、24時間体制で作業にあたり、押し流された橋や壊れた堤防を直し、洪水被害を最小限に食い止め、食料や日用品の輸送路を確保しています。

このように建設業は地域の発展の基盤を作るとともに、皆さんの暮らしの安全・安心を支える産業といえます。

また、「ものづくり産業」である建設業はITなど情報技術の導入に取り組んでいる業界でもあります。現場でのドローンの活用、GPSを利用した建設用機械など、ITは建設業の「日常」になりつつあります。ITに関する知識に慣れ親しんでいる皆さんは今後建設業にとって大きな戦力になりえます。

女性の皆さんの活躍も広がっています。女性ならではの細やかな気配りと明るさ、温かさが、男性中心だった現場を変えつつあります。

今回の冊子「C・FILE」では、協会を構成する各地の建設企業を紹介しています。社長からのメッセージや先輩社員からの声には、若者への期待と、建設業で働く誇りが込められています。

皆さん、「C・FILE」を手に取り、建設業を理解し、そしてぜひ建設業の扉をたたいて下さい。「やりがい」と「未来」がここにあります。

2018年3月

一般社団法人 北海道建設業協会会長 岩田圭剛